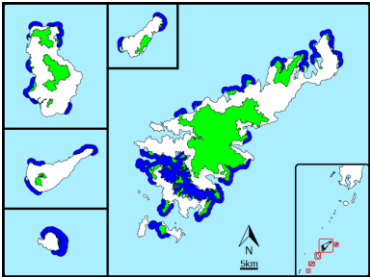


【ふるさと関連たより】(写真南海日々・奄美新聞他)
○奄美・琉球世界自然遺産登録へ弾み

奄美群島は平成 29 年 3 月 7 日正式に国立公園に指定された。図に示す陸域、海域が指定エリアだ。政府はユネスコに既に自然遺産推薦を提出済。群島内では自然保護の重要性と観光の振興と地域の発展に期待高し。



最短で 2018 年夏の登録。 陸域 海域

○面縄小学校 120 周年式典・祝賀 H28.11.3

面縄小学校は 120 周年記念学習発表会、式典、祝賀会を同校体育館で開催した。明治 29 年目手久、検福、面縄 3 小が合併し誕生。6 年生は面縄の出身で「復帰運動の父・泉芳朗先生」の功績を寸劇で発表した。児童数 124 名。



○樟南第二高等学校 50 周年式典・祝賀 H28.11.12

創立 50 周年記念式典、新校舎落成祝賀会を同校で開催。同校は昭和 41 年、高校進学生の増に、受入れ枠の新設を欲する天城町や島民の要請に時任学園が理解を示して全国離島唯一の私学として誕生した。学校名を第二鹿児島商工高、徳之島商工高の後現高校名に至っている。



○第 30 回記念大会準備万全 H29.6.25 開催予定

第 30 回記念大会の 6 月 25 日に向けて、実行委員総会が 4 月 12 日天城町役場であり準備万端である。大会エントリー者数は計 523 人と超人気ぶりです。30 年の実績から 2020 年の国体のトライアスロン競技会場にも決定されている。



○母間騒動 200 周年式典・シボヅウム H28.10.16

「母間騒動の式典」が母間小学校体育館であった。天災・疫病・搾取の三重苦の村人たちが一斉蜂起した歴史的事件。住民 45 人の島口劇「母間騒動千年物語」を通じ、先人たちの気概の伝承を誓い合った。



【会務報告】 H28 年 4 月 1 日～H29 年 3 月末迄

H28.04.07：入学式祝電
H28.04.09：関東徳高会役員会 五反田「塩梅」
H28.05.14：総会案内送付 事務局
H28.06.04：東京安陵会総会(上野精養軒)遠藤会長出席
H28.06.18：白石校長・福田会長歓迎会 グリル つばめ
H28.06.19：平成 28 年 総会・懇親会「きゅりあん」
H28.06.26：配田ヶ丘同窓会総会 遠藤会長出席
H28.07.03：関西徳高会緑友会合同会(尼崎)出席
H28.07.24：関東伊仙町会総会 松山幹事長出席
H28.08.13：関東徳高会役員会 恵比寿「大吉」
H28.09.19：関東徳之島町会総会 勝会長出席
H28.09.23：関東徳高会役員会 神田「清龍」
H28.09.25：関東天城町会総会 勝会長出席
H28.10.09：創立 10 周年案内と寄付依頼の発送
H28.11.05：創立 10 周年記念式典(徳之島)出席
H28.11.12：関東徳州会総会 勝会長出席
H28.12.16：関東徳高会役員会 有楽町「わび蔵」

【会計報告】

報告期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

収入 (円)		支出 (円)	
前期繰越金	1016,699	総会・懇親費	494,797
総会会費	342,000	役員会議費	145,280
総会寄付金	107,000	事務・通信費	211,382
来賓祝儀	109,000	郷友会等祝儀	90,382
通信賛助金	273,809	雑費(祝電等)	58,000
本部支援金	50,000	周年記念旅費	78,340
役員会余剰金	18,396	周年記念寄付金	800,000
周年記念寄付金	441,000	(小計)	1,878,181
利息他 雑収	70	次期繰越金	479,793
収入合計	2,357,974	支出合計	2,357,974

上記の通り仮報告いたします。
支出の周年寄付金は会計から補填し 80 万円としました。
正式には会計監査を経て総会にてご報告いたします。

関東徳高会会長 勝 光重 印 省略

【あとがき】

新設徳之島高等学校創立 10 周年祝賀を終えて、関東徳高会会報は第 7 号の発行をすることができました。
会報は、未曾有の東日本大震災で、定期総会を中止した経緯から、会務報告として発行致しました。その後 会の健全性を願って会報による意思疎通と財務強化に努めました。また、新設徳高の 10 周年記念を事業目標として一層の財務のご協力をお願いして成果が得られました。
お陰様で記念式典に 2 名の役員を派遣できました事は会報発行の第一ステージの任は果たせたと思います。
おわりに感謝の意を記しお礼とします。(文責：喜多)



鹿児島県立 徳之島高等学校 関東同窓会 会報

関東徳高会

No.7

発行所 〒142-0062 品川区小山 4-5-2 荏原不動産 TEL 03-3781-0446 発行人：関東徳高会会長 勝 光重

ご挨拶

関東徳高会会長 勝 光重

第 19 期生

会員の皆様、私は昨年会長に推された小島出身の勝光重と申します。平素は同窓会活動にご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。私は先輩方が営々と築いてこられた



関東徳高会の伝統を受け継いで、前進させるべく精一杯励むつもりでおります。至らない点多々あるかと思いますが、引き続き、ご指導ご鞭撻いただければ幸いです。
さて、当会の目的は「会員の親睦推進」「母校の発展に寄与する」と会則にあります。現状は少子化による新卒者の減少、高齢化による参加率の低下、若年層の参加低迷等の課題を抱え運営しています。当会が年齢や性別を超えた温かい交流の場、安堵の場、切磋琢磨の場としてさらなる発展を期して役員一同一丸となって取り組んでいく所存です。当会発展のためにどんな小さなことでも結構です、お気軽に声をかけていただき、ご意見やお知恵を拝借させていただきたくご協力をお願いします。

昨年は新設校 10 周年記念行事(式典・講演)が 11/5 に PTA・同窓会・関係者が集い、高校体育館で開催されました。全国の同窓会代表が参列しました。当会から私と松山幹事長そして帰郷中の当会役員 10 人程が参列しました。記念行事の一環として同窓会本部から空調環境の設備改善費用支援要請があり、会員からご寄付を募ったところ多くの会員からご賛同いただき、80 万円を同窓会本部に寄付することができました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

久しぶりに母校を訪問し、整然とした構内風景や礼儀正しい後輩たちを垣間見て、とても感慨深くこの高校が母校で良かったと嬉しい気持ちで一杯になりました。

最後になりますが、会員のますますのご健康とご多幸を祈念しますとともに、皆様の徳高会活動へのご理解とご支援、積極的な参加をお願いしてご挨拶とさせていただきます。

編集者メモ

・昭和 44 年卒業。 現 関東伊仙町会会長

平成 29 年 5 月 20 日発行

敬 愛
向 学
共 生

ご挨拶

関東徳高会第 7 代 会長 古勝 昭男

第 9 期生

会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。私が会長を勤めたのは昭和 61 年から 63 年の 3 年間です。その頃の関東徳高会の様子は最近の様子とはかなり違っていました。



第一期生もほとんどお元気で会に出席されていました。また、会の運営にも一期、二期、三期の先輩が協力して役員を支えて下さいました。お陰でサラリーマン現役の多忙な私でも会長が勤まったと思います。卒業生の少ないこともありましたが、総会・懇親会出席者も少なく、会計収支のバランスとりには苦労しました。その点では、後の役員の皆様が通信費寄付の定着など工夫をされて、積立金が出来るまでになったことは感謝です。また最近標準語を自由に話す背丈のある若人の会員が多くなったことも大きな変化です。徳之島高等学校生がスポーツなど全国区で活躍していることも嬉しいことです。それでも関東での徳之島の認知度は思いの外、低いようです。人口 2～3 千人位の孤島程度の認識が大半でしょう。基地反対運動などのテレビ放映を見てその大きさと美しさにびっくりする人もいました。確かに島から関東に出てくるにはかなりの困難があり、島で生まれたことを悔やんだこともありましたが。

今は、島で 18 年間、空と海を眺めて育ったことを感謝と誇りに思っています。室戸岬で空と海を見つめて空海になった弘法大師のようにはなれませんでした。徳之島は人間の永い歴史を持ち、情熱と寛容の生活の知恵を育てて来た島と思っています。その点、国立公園指定や世界自然遺産登録候補になったことは、島の生活文化を発展・永続させるのに大いに役立つでしょう。伊仙町で進めている発掘調査研究による考古学の実践にも応援したい事です。日本に限らず世界的に極端な格差から来る不満不愉快が積み、偏狭なナショナリズムが幅をきかせていますが、本当の愛郷心を私たちは強く持っていると感じています。みんなで明るく元気で健康長寿を全うして、周りの人たちに羨まれる生き様をしましょう。

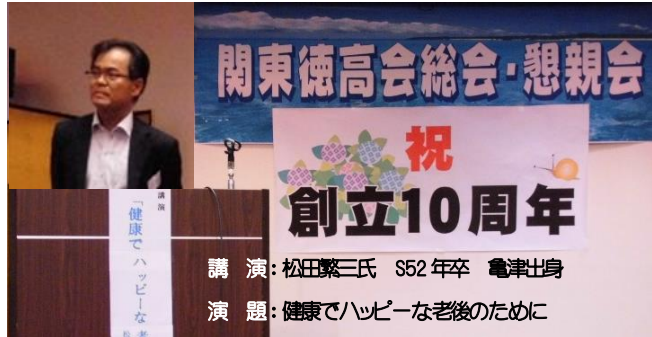
編集者メモ

・昭和 34 年卒業 亀津出身。前 関東徳州会会長

○平成 28 年 総会盛大に開催される！ H28.6.19
平成 28 年度の関東徳高会総会ならびに懇親会は 6 月 19 日(日曜日)12 時から大井町駅前の品川区立総合区民会館「きゅりあん」にて新卒者 3 名を含めた会員 85 名の参加のもと開催されました。

【第一部】は関東徳高会恒例の講演会で医師の松田繁三さん(27 回卒)が「ハッピーな老後のために(健康面から)」と題し、専門の整形外科の視点からデータを用いて元気に過ごすためのポイントが紹介され、好評を博しました。

【第二部】総会は勝光重幹事長が司会進行し、宮原たつ子副会長が開会の挨拶、郷土謡拝、校歌斉唱と続き遠藤会長挨拶の後、幹事長が議長を兼ねて議事進行。会務・会計・監査報告が各担当からあり、岡村隆文選考委員長のもと次期役員選出。新会長に勝 光重さんが推挙され承認。来賓紹介の後、来賓代表挨拶に白石秀逸校長、福田利光同窓会本部会長、嶺山哲夫関西徳高会会長、里井達吉関西緑友会会長のご挨拶。井口京子副会長が 二部を閉めた。



【第三部】懇親会の司会は利成彦、松永光子さんが担当。古勝昭男顧問による乾杯の音頭で懇親会がスタート。旧校歌斉唱の後、平山徳廣徳州会会長、横田捷宏徳之島「夢」振興会議理事長からご挨拶を頂戴し、余興に移る。余興では碇浩二さん、小坂田上さん、小野幸子さん、小坂京子さん、天城町女性部の皆さん、天城町エイサー隊の唄や踊りで絶好調に！そして空手部 OB 会の発足や各期の紹介、新卒者紹介があり、飛び入り芸、カラオケと続きエンディングはみんなでワイド節・六調を踊り楽しんだ。第三部は豊正弘相談役の閉会の挨拶で終了しました。



○新設徳高 10 周年募金に感謝！ 80 万円送金
母校では 10 周年記念行事の一環として教室の空調整備等の事業が計画され多額の資金を必要とすることになりました。そこで同窓会本部から全国同窓会に資金援助要請があり、関東徳高会役員会は、母校の為できる限り協力しようと、全会員へ資金協力依頼文書をお送りしたところ 44.1 万円 (45 人) のご協力を戴きました。会からも追加補填し 80 万円にして送金しました。経済状況厳しき折にも関わりませず、ご協力いただきました多くの会員の皆さまにこの場をお借りして心よりお礼申しあげます。

徳高会会長 勝 光重

○新設校 10 周年記念式典に関東からも参加
記念式典は平成 28 年 11 月 5 日母校の体育館で開催。栄えある式典に関東徳高会としては勝光重会長、松山哲則幹事長の 2 名を派遣することにいたしました。また、関東徳高会の会員には、NPO 法人徳之島「夢」振興会議のフラワー委員として多くが活動しています。メンバーは「夢」振から母校への記念樹の贈呈に同道すると共に、校内常設の同窓会用メモリアルホールの展示品の視察や植樹をした後、式典に出席し祝福しました。



○白石校長・福田蔵越会会長と交流会 H28.6.18
関東徳高会総会参加のため上京されたのを機に役員有志は、品川駅前の「グリルつばめ」にお二人を迎えて 10 周年記念事業などについての情報交換を行った。

○10 周年に新設校同窓生は「結心会」を創立
新設校卒業生が平成 28 年 6 月に同窓会の新組織を立ち上げていることが判明した。新設徳之島高校は 10 年前に徳之島高校と徳之島農業高校が統合新設された。新設校の誕生の折に旧高校の同窓会のあり方も各地で課題になり、関東地区は早々に同窓会も統合が最適とし、速やかに組織の構築・規約の制定を進め、卒業生を温かく受け入れて今日まで来ている。関東の結心会員について改めて討議した結果、支援力を含めて陣容の大きい関東徳高会が寛容に受け入れる方向で進めることとした。地元を含め同窓会統合は関東以外では実っていない。

【母校・蔵越会本部便り】
○新設徳高 10 周年記念式典と記念講演会
記念すべき式典と講演は平成 28 年 11 月 5 日、母校の体育館で来賓・卒業生や生徒並びに保護者など 400 余名で開催。白石秀逸校長は、知・徳・体「文武両道」の伝統を引き継いで、素晴らしい徳之島高校の新しい歴史を開く教育を目指す」と述べた。記念講演会は旧徳之島高校の卒業生で歌手の榎一馬さん、安田竜馬さんが登壇した。お二人から徳之島高校応援ソング「YOUR STORY」がプレゼントされた。



○平成 28 年度卒業式開催
平成 29 年 3 月 1 日、第 9 回卒業式が行われた。普通科 93 名、総合学科 26 名。進路は大学 35、短大 13、専門 52 就職 15、他 4 名となっている。旧来からの同窓会「蔵越会」への入会式は、「結心会」の誕生により行われなかった。
○平成 29 年度入学式 平成 29 年 4 月 7 日(金)
母校では入学式が穏やかな日差しの中で行われた。募集人員は 4 クラス 160 名のところ普通科 3 学級 86 名、総合学科 1 学級 25 名の入学となった。現在、全生徒 308 名。1 年 4 学級、2 年 3 学級、3 年 4 学級となっている。



○蔵越会本部は母校に大型パネル贈呈
蔵越会は 10 周年にあたり新設徳之島高校の空撮記録写真パネルを製作して贈呈した。写真は新設校の 10 年目の容姿を松山栄作氏がドローンによって撮影した力作である。母校玄関に掲示された。



○蔵越会本部は定例総会開催 H28.11.5
蔵越会本部は亀津の A コーブで総会を開催した。母校の 10 周年祝賀に関東、関西から来島していた役員も参加して交流した。若い会員の参加が多く闘牛パワーの感。



【会員便り】 同窓会などの会員便り投稿お待ちしております
○普通科第 16 回卒業生同窓会開催 H28.10.24
昭和 41 年普通科卒業生は下久志の民宿「ときわや」で同窓会を開催。あたかも卒業 50 周年である。関東から帰省の 3 名を迎え急な企画にもかかわらず 28 名が出席した。商業科の女性も特別参加して明るいひと時でした。



○コスモプラス(株)本社ビル竣工
旧社名コスモ調剤薬局は H28.5 自社ビルを土呂駅前に新築。H29.1 には社名も変えて事業を展開している。埼玉を拠点に調剤薬局の店舗と訪問看護ステーションなど医療関係を千葉や東京等に拡大。現在 19 店舗。
・創立昭和 61 年 2 月
・創設者：林 正憲 氏
・犬田布出身 第 14 回卒



○新宿「たかぐら」閉店 平成 29 年 2 月末日
徳之島出身者はじめ奄美関係者に長らく親しまれてきた新宿の郷土料理「たかぐら」は皆様に惜しまれながら閉店となった。1 月 28 日には常連客による「おぼらだれん」会が開催された。上野捷一店主は昭和 43 年開店から 48 年間のご愛顧に謝辞を述べられた。



○関西徳高会・緑友会合同同窓会 H28.7.3(日)
徳高関西同窓会総会は尼崎市中小企業センターで開催。一部総会、二部懇親会と進行。嶺山会長から関西も来年から徳高会と緑友会の一本化が決まったとの報告。複雑な事情もあるが、小異を捨て大同に就く!!の感でした。福田本部長、鹿児島徳高会代表、吉見先生、関東徳高会からは勝光重会長と城戸あい子さんが参加。

